

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月20日

上場取引所 大

上場会社名 愛光電気株式会社  
 コード番号 9909 URL <http://www.aiko-denki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 保  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 渡邊 幹夫

TEL 0465-37-2121

四半期報告書提出予定日 平成23年1月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年3月21日～平成22年12月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,001	6.9	△44	—	25	—	0	—
22年3月期第3四半期	6,549	△17.3	△74	—	△6	—	△25	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	0.10	—
22年3月期第3四半期	△5.87	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	4,936	1,941	39.3	442.76
22年3月期	5,053	1,957	38.7	446.25

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,941百万円 22年3月期 1,957百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	7.1	△59	—	17	△47.0	5	185.2	1.14

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 4,411,000株 22年3月期 4,411,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 26,594株 22年3月期 24,965株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 4,385,081株 22年3月期3Q 4,387,065株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、2ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第3四半期累計期間) .....	6
(第3四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、景気の後退に一部では歯止めが掛かったものの、欧米の財政不安の影響を受けて円高が進んだことにより企業収益に影響が及ぶおそれから、全体的回復には依然として厳しい状況が続いております。電設資材卸業界におきましても引き続き厳しい経営環境となっております。

こうした情勢の中で当社においては、雇用・所得環境の低下、デフレ圧力が強まるなかでの市場の冷え込み及びこれに伴う競争激化の影響を受け全般的に売上の回復には至っておりません。5月には展示即売会「AIKOフェスタ2010」を実施し、夏季の猛暑によるエアコン関連の販売が好調に推移した結果、当第3四半期累計期間における売上高は7,001百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

利益面につきましては、売上総利益も売上高同様、順調に推移いたしました。経費につきましては効率的な支出に努めてまいりましたが、営業損失44百万円（前年同期は営業損失74百万円）となり、経常利益25百万円（前年同期は経常損失6百万円）、四半期純利益は0百万円（前年同期は四半期純損失25百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は4,936百万円となり、前事業年度末に比べ116百万円減少いたしました。流動資産は3,889百万円となり、90百万円減少いたしました。主な要因は売上債権の減少です。固定資産は1,046百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円減少いたしました。

当第3四半期会計期間末の負債合計は2,995百万円となり、前事業年度末に比べ100百万円減少いたしました。流動負債は買掛金の減少と短期借入金の減少等により2,818百万円となり、前事業年度末に比べ78百万円減少いたしました。固定負債は役員退職慰労引当金の取崩等により176百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円減少いたしました。

これらにより当第3四半期会計期間末の純資産の部は1,941百万円となり、前事業年度末と比べ16百万円減少いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比べて69百万円増加し、690百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は192百万円（前年同期は563百万円の増加）となりました。主な資金の増加の要因は売上債権の減少（228百万円）によるものです。減少要因としてはたな卸資産の増加（110百万円）によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は10百万円（前年同期は19百万円の減少）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は113百万円（前年同期は330百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純減少によるものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年4月30日発表の数値と同じであり、変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①法人税、住民税及び事業税並びに繰延税金資産の算定方法

法人税、住民税及び事業税の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しています。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地たな卸を基礎とした合理的方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	690,726	621,675
受取手形	1,417,226	1,326,841
売掛金	1,393,344	1,712,668
商品	345,715	234,972
その他	48,109	85,861
貸倒引当金	△5,147	△1,181
流動資産合計	3,889,975	3,980,838
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	239,761	247,413
土地	415,040	415,040
その他(純額)	28,540	35,880
有形固定資産合計	683,341	698,334
無形固定資産	21,825	28,795
投資その他の資産		
投資有価証券	49,509	52,996
関係会社株式	2,500	—
その他	345,347	333,448
貸倒引当金	△55,882	△40,938
投資その他の資産合計	341,473	345,506
固定資産合計	1,046,641	1,072,635
資産合計	4,936,617	5,053,474

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	469,180	378,731
買掛金	821,300	937,699
短期借入金	1,350,000	1,450,000
賞与引当金	12,495	—
その他	166,015	130,964
流動負債合計	2,818,990	2,897,395
固定負債		
退職給付引当金	123,760	126,216
役員退職慰労引当金	52,612	72,572
固定負債合計	176,372	198,788
負債合計	2,995,363	3,096,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	652,736	665,474
自己株式	△8,409	△8,014
株主資本合計	1,947,926	1,961,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,672	△3,770
評価・換算差額等合計	△6,672	△3,770
純資産合計	1,941,253	1,957,289
負債純資産合計	4,936,617	5,053,474

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)
売上高	6,549,640	7,001,884
売上原価	5,481,217	5,864,925
売上総利益	1,068,423	1,136,959
販売費及び一般管理費	1,142,923	1,181,455
営業損失(△)	△74,500	△44,495
営業外収益		
仕入割引	80,621	84,561
その他	16,274	13,598
営業外収益合計	96,895	98,159
営業外費用		
支払利息	9,543	6,555
売上割引	19,389	20,704
その他	327	448
営業外費用合計	29,260	27,707
経常利益又は経常損失(△)	△6,865	25,955
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,820	480
特別利益合計	14,820	480
特別損失		
投資有価証券評価損	—	309
固定資産除却損	—	479
特別損失合計	—	789
税引前四半期純利益	7,954	25,647
法人税、住民税及び事業税	6,264	24,204
法人税等調整額	27,450	1,022
法人税等合計	33,714	25,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,760	419

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)
売上高	2,143,786	2,494,510
売上原価	1,781,412	2,096,406
売上総利益	362,374	398,103
販売費及び一般管理費	374,447	383,902
営業利益又は営業損失(△)	△12,073	14,201
営業外収益		
仕入割引	24,499	27,364
その他	4,747	2,796
営業外収益合計	29,246	30,160
営業外費用		
支払利息	2,749	2,000
売上割引	5,040	6,706
その他	130	1
営業外費用合計	7,920	8,709
経常利益	9,252	35,652
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,721	75
特別利益合計	1,721	75
特別損失		
固定資産除却損	—	23
特別損失合計	—	23
税引前四半期純利益	10,974	35,703
法人税、住民税及び事業税	2,096	16,596
法人税等調整額	2,918	2,153
法人税等合計	5,015	18,749
四半期純利益	5,958	16,954

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	7,954	25,647
減価償却費	37,997	31,724
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,111	△2,456
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,850	△19,959
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44,104	18,910
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,036	12,495
受取利息及び受取配当金	△2,572	△3,093
支払利息	9,543	6,555
投資有価証券評価損益(△は益)	—	309
有形固定資産除却損	—	479
売上債権の増減額(△は増加)	737,689	228,939
たな卸資産の増減額(△は増加)	△35,800	△110,742
前払費用の増減額(△は増加)	△682	△186
未収入金の増減額(△は増加)	23,362	30,701
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,132	△849
破産更生債権等の増減額(△は増加)	39,739	△22,378
仕入債務の増減額(△は減少)	△104,052	△25,950
未払金の増減額(△は減少)	△11,956	6,539
未払費用の増減額(△は減少)	△6,484	1,499
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,772	5,334
預り金の増減額(△は減少)	△5,436	△1,206
その他	△1,318	3,796
小計	580,675	186,108
利息及び配当金の受取額	3,144	4,083
利息の支払額	△9,469	△6,742
法人税等の支払額	△19,376	△7,075
法人税等の還付額	8,269	16,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	563,243	192,861
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,789	△6,587
無形固定資産の取得による支出	△1,004	△3,840
投資有価証券の取得による支出	△260	△260
関係会社株式の取得による支出	—	△2,500
貸付けによる支出	△1,150	△620
貸付金の回収による収入	1,215	2,964
その他	979	624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,009	△10,219

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年12月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△298	△395
配当金の支払額	△30,690	△13,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△330,988	△113,591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	213,246	69,050
現金及び現金同等物の期首残高	580,650	621,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	793,896	690,726

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。